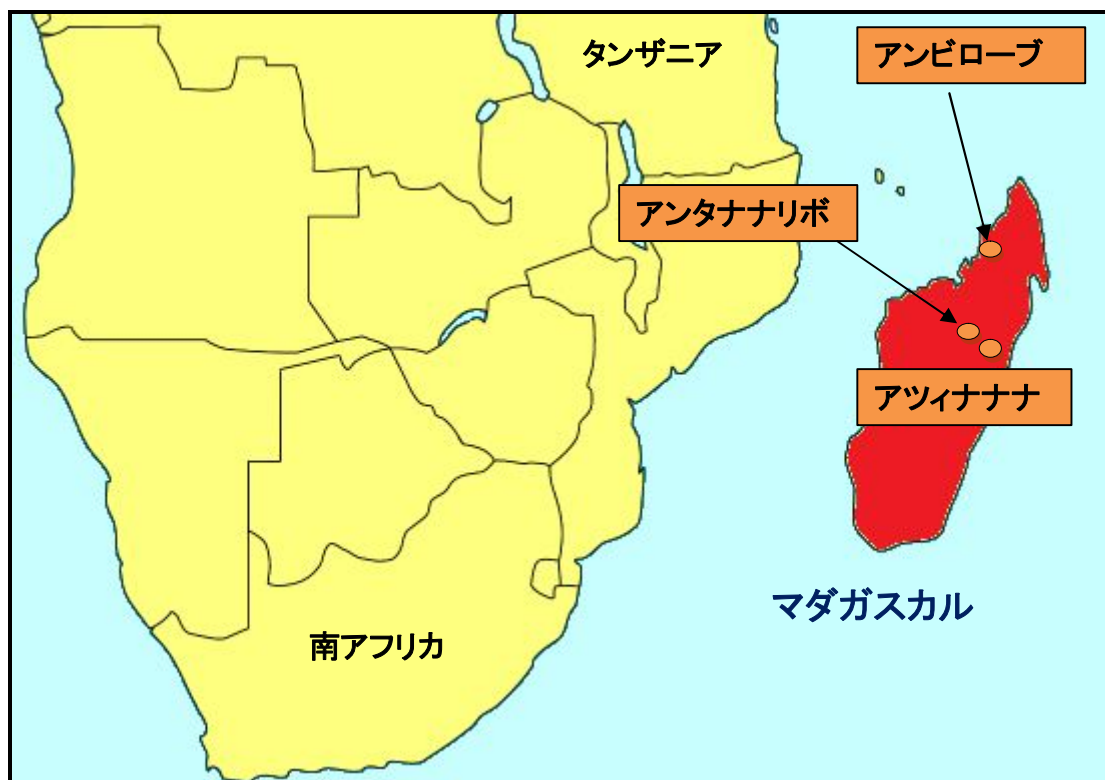


マダガスカルでのペストの流行

2011年3月18日 ProMED 情報(L'Express de Madagascar, Madagascar-Tribune)



今年はじめより北部の中心にペストが流行し、これまでに患者45名が確認され、23名の死亡患者が報告されています。北部の都市アンビローブ (Ambilobe) 近郊の村で15名、首都アンタナナリボ (Antananarivo) 近郊で3名 (3月15日現在)、アツィナナナ (Atsinanana) 地域圏でも死亡患者が報告されています。マダガスカルでは毎年ペストが発生しますが、特に10月から4月に多く、雨季と干ばつが相まって衛生状態が悪くなり、ネズミが村に侵入してくることが原因と考えられます。

【ProMED 調整者】

以上の報告からは肺ペストか腺ペストか明らかではありません。死亡率の高さからヒト-ヒト感染をおこす可能性がある肺ペストと考えられます。